

食品安全近代化法 2012

(Food Safety Modernization Act)

上院510法案

- 一番大きな問題は、農家が在来種の種子を採集し、保存し、蒔種してはいけないという条項がある。
- これにより、遺伝子組み替えのF1種の種子を毎年、種苗業者から買わねばならない。
- これには、麻薬中毒の悪循環に近いものがある。

通称「モンサント保護法」2013

下院 5973法案

The Monsanto Protection Act

- Agriculture, Rural Development, Food and Drug Administration, and Related Agencies Appropriations Act
(農業・地方開発・FDA・関連政府機関歳出法)
- 「もしこのモンサント保護法が通過すれば、安全審査を
経ていない遺伝子組換え作物の耕作が可能となり、その間、
農民、消費者と環境を危険に晒し、司法審査の概念を徐々に
蝕み、消費者の権利と環境を保護するための憲法上の命令を
裁判官から剥奪するであろう。」

<http://www.naturalnews.com/>

モンサント保護法の背景

除草剤であるラウンドアップに耐性をもつ雑草が増え、より強力な除草剤が使われるようになっていく。

その一つが**ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤 (オレンジ剤) = 劇薬の2.4-D。**

アメリカでは遺伝子組み換えトウモロコシ (2.4-D耐性) の承認に市民の猛反対が起こり、36万5千人以上の反対のパブリックコメントが提出され、承認されなかった。

ところがこの遺伝子組み換えトウモロコシが日本では12月5日に承認され、食用、飼料用に認可された！！

<http://www.centerforfoodsafety.org/>

そこでISD条項が効いてくる。

ISD=Investor-State Dispute

例 * 「遺伝子組み換え大豆不使用」
の表示をしてはいけない。

違反すれば、米国の種苗企業から
国債投資紛争解決センター
(世界銀行の下部組織)に
日本政府が訴えられる。

NAFTAのISD条項に於ける訴訟

NAFTA = 北米自由貿易協定

カナダ = 28件・すべて敗訴 > 賠償

メキシコ = 19件・すべて敗訴 > 賠償

アメリカ = 19件・すべて勝訴 > 賠償なし

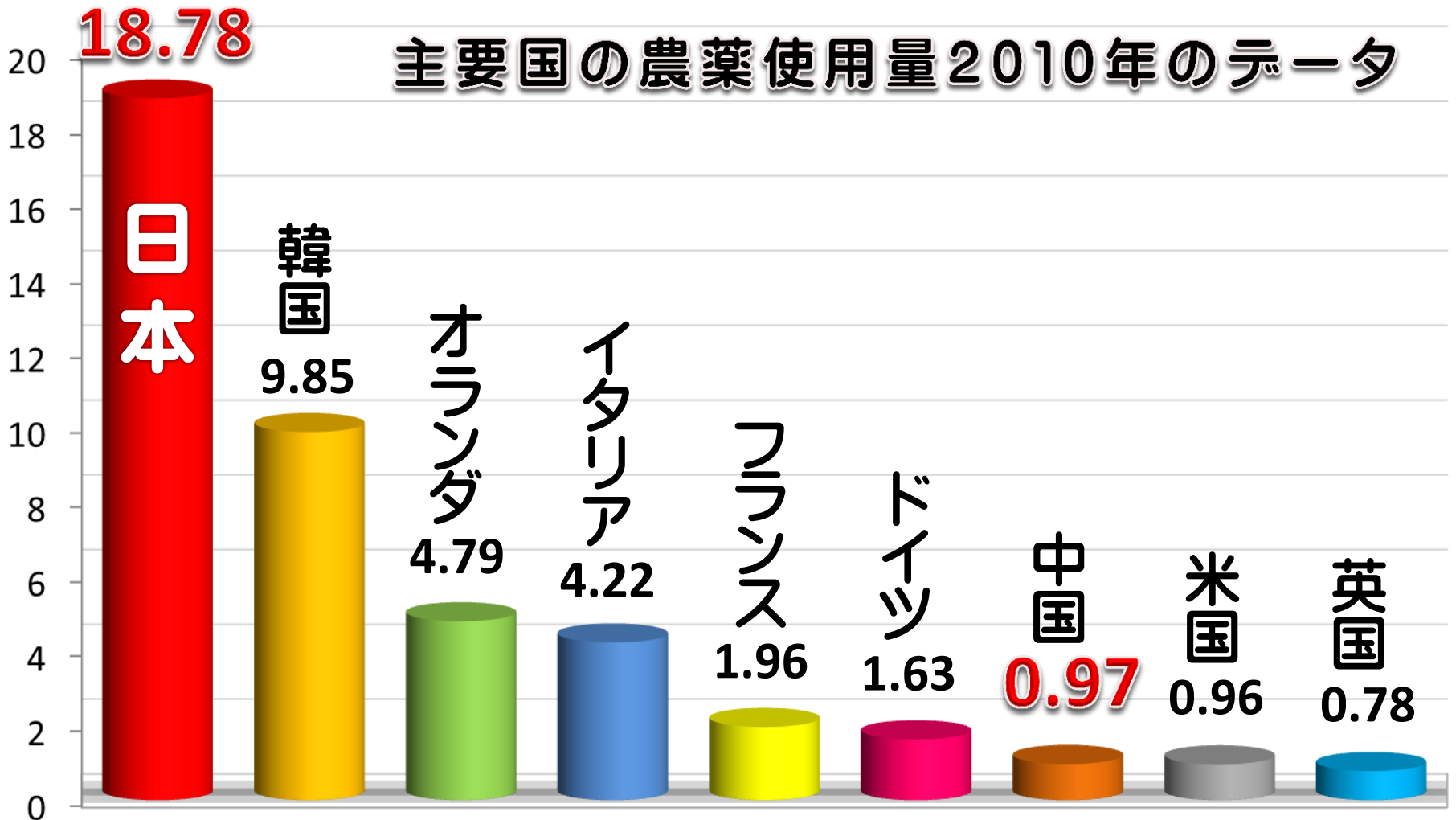
2010・10・1現在

出典: NAFTA's Chapter 11

日本の農薬使用量

kg / ha

主要国の農薬使用量2010年のデータ



出典: 木村秋則氏 (『農業ルネッサンス』春号)

食品安全近代化法 2012 (Food Safety Modernization Act)

上院510法案

- FDAにとって「近代化」という言葉には、医薬品（抗生物質など）、化学物質（塩素など）、他の生物の遺伝子、その他企業が利益のために新たに製造する物質なら何であれ、こうした物質を全食糧供給に混入させるよう全国民に義務付ける意図がある。食糧生産者に農薬の使用が強制され、それを我々は食べることで害を被ることになる。照射殺菌が強制され、それが全生産者が従うべき「安全」基準になるだろう。

[The Food Safety Modernization Act: The US Government's Assault on "Food Freedom" Tester Amendment to food 'safety' bill puts lipstick on a pig](#) (Global Search)